

学年
通信

夢追人

令和7年5月21日
第7号
小代中学校3年生
発行者:梅谷俊平

みんな違って みんないい だから…

光 彦「どうして人は人を傷つけたりするのでしょうか。」

あゆみ「みんなが仲良く暮らせれば良いのにね。」

灰 原「無理ね。人には感情があるもの。目には見えないうえにとっても変わりやすい厄介な
しるものがね。それが友情や愛情なら良いけど、何かのきっかけで嫉妬や恨みに変
われれば…」

元 太「俺の母ちゃんと父ちゃんはしょっちゅう喧嘩しているけど仲良いぜ！」

阿笠博士「それはお互いに思いやる気持ちを持っているからじゃよ。人はふとした事で傷つける
側にも傷つけられる側にもなる。そうならないためには相手のことを思いやる気持ち
が必要なんじゃ。」

公開から日が経ちましたが、ついに見に行くことができました。(あと3回は見る)
コナンの映画の中で特に好きな映画、個人的ランキング上位にも入る、「水平線上の陰謀(ス
トラテジー)」の中で心に残っている会話シーンを載せてみました。

約38億年前に生まれた細胞は、自分と同じゲノム(遺伝情報)を持つ細胞を生み出した。
そしてその28億年後、2つの細胞が融合し、ゲノムを混ぜ合わせて新しい個体を生み出す有
性生殖のしくみが生まれた。ゲノムを混ぜ合わせると、親とは異なる個体が生まれる可能性が
高まるので、現在の多様な生きものを生み出す原動力となったと考えられている。ヒトも同じ
く、精子、卵に含まれるそれぞれ23本の父由来と母由来の染色体を受け継ぎ、46本の染色
体をもつ受精卵として人生をスタートする。実は2つのゲノムの混ぜ合わせだけなら細菌でも
見られ、有性生殖に限ったことではない。約10億年前に起こった有性生殖が生み出された時
に新しく登場したのは、混ぜ合わせた染色体を正確に半分にして生殖細胞をつくる減数分裂の
しくみである。

単純に計算をしてみると、46本の染色体を父由来から23本、
母由来から23本受け継ぐ。いずれの染色体も減数分裂の際に2通
りから選ばれるので…

$$2^{46} = \text{約7兆通り}$$

ということになりますよね。更に、父と母が出会う可能性を考えて
みましょう。人は生涯に4000人と出会うそうです。その中で恋
愛対象になる人物は300人程度だそうです。

要するに、7兆×300=2100兆。私たちは、2100兆ある選
択肢の中の1つが選ばれて、それが基になって成長して、今がある
のです。

ものすごく、前置きが長かったですが、最後に何が言いたいか
を言いますね。

価値観なんて、人それぞれ違って当たり前。同じものを見て、美
しいという人もいれば、そうでないという人もいる。違っているこ
とに疑問を持つこともある。不安に思うこともある。それはお互い
に同じ。阿笠博士が言うように、相手を思いやる気持ち大切なの
です。こんなこと言われたら嫌かな。こんな声かけしてくれたら嬉
しいかな。

長い人生、失敗する時もあるでしょう。すぐに反発するのではな
く、一呼吸おいて、



って言ってあげましょう。人は誰でも失敗する。失敗して、成長す
る。だから、どこかで、『ごめんね』からの『いいよお』と言ふこ
とがお互いに出来て、今を思いっきり楽しむ努力が出来ればいいな
と思います。修学旅行、しっかり学んで楽しみましょうね!

参考・引用) RESEARCH 減数分裂 多様さを生み出す厳格なしくみ 東京大学分子生
物学研究所教授 渡邊嘉典
名探偵コナン『水平線上の陰謀』